

# まちづくりの基本理念と将来像

出雲地域2市5町は、歴史的・文化的にも地域全体が古代から同じ風土、生活文化を共有してきました。加えて、この地域には、空港・港湾機能、商工業、観光、保養等の機能が集積し、極めて高いポテンシャル(可能性)を秘めています。この地域が持つ可能性を現実のものとし、発展させていくためには、それぞれが分離したままでは弱く、各市町が一つになり、同じ目標に向かうことによって大きな飛躍が可能になります。

2市5町の合併による新たな20万都市ビジョンのもとに、環日本海交流、中四国地方との交流を視野に入れた山陰の21世紀中核拠点都市を目指します。

## 歴史文化が暮らしに息づくまち

出雲の地には、「国引き」「国譲り」「スサノオ」神話の舞台として多くの歴史的・文化的資源があります。この出雲神話に代表される歴史文化は、住民の皆さんが「出雲はひとつ」と共感できるものであり、ひとつのまちとしてまとめるための拠りどころでもあると考えます。例えば県外に出たとき、「島根」と言うよりも「出雲」あるいは「出雲大社」のあるところと言った方が、理解されやすいことでも実感できると思います。

他の地域が願っても得ることの出来ないこの貴重な資源を活かし、歴史文化が暮らしに息づくまちづくりを進め、訪れたいまち、住みたいまちとして、「そこに誇りと喜びがあるまち」を目指します。

## 都市的機能が充実したまち

山陰の中核拠点都市として、生活・産業基盤の整備を進め、民間の設備投資(企業進出を含む。)が活発に行われる都市的機能の充実したまちづくりを進めます。

生活・産業基盤の整備→民間設備投資の拡大・企業進出の促進→地域経済の拡大→多様な就労の場の創出→定住人口の拡大→財政基盤の充実→生活・産業基盤の整備という大きな流れをつくるとともに、それぞれの地域の特性を活かした地域経済の確立と自立した地方自治を目指します。

そして、将来を担う若者や子どもたちが、都会に出て行かなくても、この出雲の地でやりたい仕事に就ける「そこに夢と希望があるまち」を目指します。

